

ボーカロイド楽曲と JPOP 楽曲の歌詞の違い

木村海斗 23B00427

東京工業大学理学院

1. はじめに

ボーカロイド楽曲と JPOP 楽曲の歌詞ではボーカロイド楽曲のほうが感動詞やカタカナ語が多いという違いがある。このことについて、それぞれの歌詞を分析し比較検討する。

2. 方法

日本語形態素解析システム MeCab と ExcelVBA を用いて両者の歌詞を解析し([2]を参考にした)、品詞や語句について比較や考察する。

解析する楽曲について、JPOP は Spotify まとめ 2023：国内でもっとも再生された楽曲より 5 曲、ボーカロイドは Kiite 再生数ランキング 2023 より上位 5 曲を使用した。

表 1：使用楽曲

JPOP	ボーカロイド
アイドル	強風オールバック
怪獣の花唄	デビルじゃないもん
subtitle	人マニア
ダンスホール	ザムザ
W/X/Y	ラビットホール

3. 結果

総品詞数を考慮すると、感動詞、形容詞、副詞、助動詞に顕著な違いが現れた。

表 2：品詞の数と差

品詞	jpop	ボカロ	jpopとボカロの差
感動詞	11	51	-40
形容詞	36	70	-34
助詞	555	358	197
助動詞	184	198	-14
接続詞	18	11	7
接頭詞	7	10	-3
動詞	374	281	93
副詞	65	60	5
名詞	528	392	136
連体詞	26	4	22
計	1804	1435	

表 3：カタカナ語の数

	カタカナ語
jpop	39
ボカロ	100

4. 考察

まず、感動詞がボーカロイド楽曲で多いことを考察する。感動詞は文中では必要なものではない、しかしボーカロイド楽曲で多く使われているのには必要性があるからと考える。ボーカロイド楽曲の特徴によく挙げられる“テンポが良い”を作るのに感動詞が取り入れやすいからだと考えられる。[1]でも同様の指摘がある。

次に、形容詞、副詞について、形容詞や副詞は、主観を用いて状態や程度を用いるのに使われる。形容詞や副詞が多いことから感情や状況の共有が重要視されていることが窺える。一方[1]では形容詞、副詞はボーカロイド楽曲のほうが少なく、「ボーカロイド楽曲は J-POP に比して、「言葉で伝える」ことよりも、「言葉を楽しむ」ことを重視している楽曲であることを表している」と書かれている。この違いは、近年いわゆるインターネット音楽が若者から共感を得ていることと関係していると考えられる。カタカナ語について、ボーカロイド楽曲では JPOP 楽曲より、固有名詞や特殊な動詞(ラビってるなど)、タイトルが歌詞に多く、それらが曲のキャッチーな印象やテンポの良さの要素となっていると考えられる。

5. 終わりに

ボーカロイド楽曲と JPOP 楽曲の歌詞について形態素解析を用いて分析した結果、ボーカロイド楽曲のほうが、感動詞、形容詞、副詞、カタカナ語が多かった。

文献：

[1]中井悠加, & 上村愛結. (2022) ボーカロイド楽曲の人気要因に関する研究：歌詞の品詞分析による J-POP 楽曲との比較. 人間と文化,5,pp77-86

[2] 盛岡知彦. MeCab を用いた古典中国語の形態素解析の試み, 情報処理学会研究報告人文科学とコンピュータ (CH) ,73号,pp17-22,2008-07-18.